請願第５号　参考資料１～８

中学校学習指導要領（平成 29 年文部科学省告示第94号）解説 総則編　抜粋

参考資料１

学校教育の一環として行われる部活動は、異年齢との交流の中で、**生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、その教育的意義が高い**ことも指摘されている。

そうした教育的意義が部活動の充実の中のみで図られるのではなく、例えば、運動部の活動において保健体育科の指導との関連を図り、競技を「すること」のみならず、「みる、支える、知る」といった視点からスポーツに関する科学的知見やスポーツとの多様な関わり方及びスポーツがもつ様々な良さを実感しながら、自己の適性等に応じて、生涯にわたるスポーツとの豊かな関わり方を学ぶなど、教育課程外で行われる部活動と教育課程内の活動との関連を図る中で、その教育効果が発揮されることが重要である。

このため、本項では**生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動**について、

① スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養、互いに協力し合って友情を深めるといった好ましい人間関係の形成等に資するものであるとの意義があること、

② 部活動は、教育課程において学習したことなども踏まえ、自らの適性や興味・関心等をより深く追求していく機会であることから、第２章以下に示す各教科等の目標及び内容との関係にも配慮しつつ、生徒自身が教育課程において学習する内容について改めてその大切さを認識するよう促すなど、**学校教育の一環として，教育課程との関連が図られるよう留意する**こと、

③ 一定規模の地域単位で運営を支える体制を構築していくことが長期的には不可欠であることから、設置者等と連携しながら、学校や地域の実態に応じ、教員の勤務負担軽減の観点も考慮しつつ、部活動指導員等のスポーツや文化及び科学等にわたる指導者や地域の人々の協力、体育館や公民館などの社会教育施設や地域のスポーツクラブといった社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行うこと。

学校教育法（昭和２２年法律第２６号）抜粋

参考資料２

第３７条　小学校には、校長、教頭、教諭、養護教諭及び事務職員を置かなければならない。
２　小学校には、前項に規定するもののほか、副校長、主幹教諭、指導教諭、栄養教諭その他必要な職員を置くことができる。
３　第１項の規定にかかわらず、副校長を置くときその他特別の事情のあるときは教頭を、養護をつかさどる主幹教諭を置くときは養護教諭を、特別の事情のあるときは事務職員を、それぞれ置かないことができる。
４　**校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。**

第４９条　第３０条第２項、第３１条、第３４条、第３５条及び第３７条から第４４条までの規定は、中学校に準用する。この場合において、第３０条第２項中「前項」とあるのは「第４６条」と、第３１条中「前条第１項」とあるのは「第４６条」と読み替えるものとする。

第四次全訂　新学校管理読本（第一法規）抜粋

参考資料３

２　校務の範囲

校務分掌を定めるに当たっては、まず校務とは何かを明らかにしておく必要がある。すなわち、校務の範囲と内容についての吟味が十分ではない場合には、過重な負担を教職員に強いたり、あるいはまったく逆のことが生ずるおそれがあるのである。

校務とは、学校の仕事全体、すなわち学校が学校教育の事業を遂行するに必要なすべての仕事をさすと一般的にはいえるであろう。したがって、校務を大別していえば、①教育課程に基づく学習指導など教育活動に関するもの、②学校の施設設備や教材教具に関するもの、③教職員の人事に関するもの、④文書の作成処理や人事管理業務、会計事務など学校の内部事務に関するもの、⑤教育委員会などの暁星機関やＰＴＡ、社会教育団体などの連絡調整に関するもの等があげられる。

川崎市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則（昭和35年川崎市教育委員会規則第５号）抜粋

参考資料４

（校務の分掌等）

第１３条　校長は、次の各号に掲げる組織の区分に応じ、当該各号に掲げる主任を置くものとし、これらの主任は、教諭（保健主任については、養護教諭を含む。）をもって充てるものとする。

（１）　前条第２項第１号に係る組織　教務主任
（２）　前条第２項第２号に係る組織　学年主任
（３）　前条第２項第３号に係る組織　保健主任
（４）　前条第２項第４号に係る組織　研修主任
（５）　前条第２項第５号に係る組織　生徒指導主任
（６）　前条第２項第６号に係る組織　進路指導主任

２　前項の規定にかかわらず、各主任が担当する校務を第14条の３に規定する総括教諭が掌理するときは、当該各主任を置かないことができる。

３　第１項に規定する主任は、当該組織が分掌する事項について連絡調整及び必要に応じて助言と指導に当たる。

第１４条　校長は、前条に定める主任及び教科又は学級を担任する職員その他の校務を担当する職員を決定するものとする。

２　校長は、前項に規定する職員等を決定したときは、速やかに教育委員会に報告しなければならない。

公立の義務教育諸学校等の教育職員を正規の勤務時間を超えて勤務させる場合等の基準を定める政令（平成１５年政令第４８４号）抜粋

参考資料５

内閣は、国立大学法人法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成１５年法律第１１７号）の施行に伴い、及び公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（昭和４６年法律第７７号）第６条第１項（同条第３項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、この政令を制定する。

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（以下「法」という。）第６条第１項（同条第３項において準用する場合を含む。）の政令で定める基準は、次のとおりとする。

１　教育職員（法第６条第１項に規定する教育職員をいう。次号において同じ。）については、正規の勤務時間（同項に規定する正規の勤務時間をいう。以下同じ。）の割振りを適正に行い、原則として時間外勤務（正規の勤務時間を超えて勤務することをいい、同条第３項各号に掲げる日において正規の勤務時間中に勤務することを含む。次号において同じ。）を命じないものとすること。

２　**教育職員に対し時間外勤務を命ずる場合は、次に掲げる業務に従事する場合であって臨時又は緊急のやむを得ない必要があるときに限る**ものとすること。

イ　校外実習その他生徒の実習に関する業務

ロ　修学旅行その他学校の行事に関する業務

ハ　職員会議（設置者の定めるところにより学校に置かれるものをいう。）に関する業務

ニ　非常災害の場合、児童又は生徒の指導に関し緊急の措置を必要とする場合その他やむを得ない場合に必要な業務

川崎市立学校の部活動に係る方針（平成３０年５月）　抜粋

参考資料６

生徒の健全な成長とバランスのとれた生活に配慮した部活動を行うため、これまでの部活動の取組やスポーツ庁策定の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（平成３０年３月）」、神奈川県教育委員会策定の「神奈川県の部活動の在り方に関する方針（平成３０年４月）」を踏まえ、**「川崎市立学校の部活動に係る方針」を策定（平成３０年５月）**

主な内容

〇適切な運営のための体制の整備

・校長は、「学校部活動活動方針」の策定し、**顧問は、「部活動年間活動計画」「部活動月間活動計画」を作成し保護者等への周知**する。

・校長は、指導内容の充実、生徒の安全の確保、教員の長時間勤務の解消等の観点から適正な数の部活動を設置する。

〇合理的でかつ効果的・効率的な活動の推進

・適切な指導の実施、体罰のない部活動指導を行う。

〇バランスのとれた部活動の運営

・**休養日について、学校の課業期間中は週当たり２日以上の休養日（平日、土曜日及び日曜日ともに少なくとも１日以上）を設けるようにする。**

・**１日の活動時間は、平日は２時間程度、休業日は３時間程度**とする等

〇生徒のニーズを踏まえた部活動環境の整備

・生徒の多様な選択肢の部活動の設置、合同部活動等の取組推進、地域との連携等

〇学校単位で参加する大会等の見直し

・生徒、家庭、顧問の負担等を考慮し、大会等への参加について精査する等

顧問の決定方法についてのアンケートについて

参考資料７

（１）実施対象　　市立中学校校長　５２名　教員　１６０８名（養護教諭、休職者を除く。）

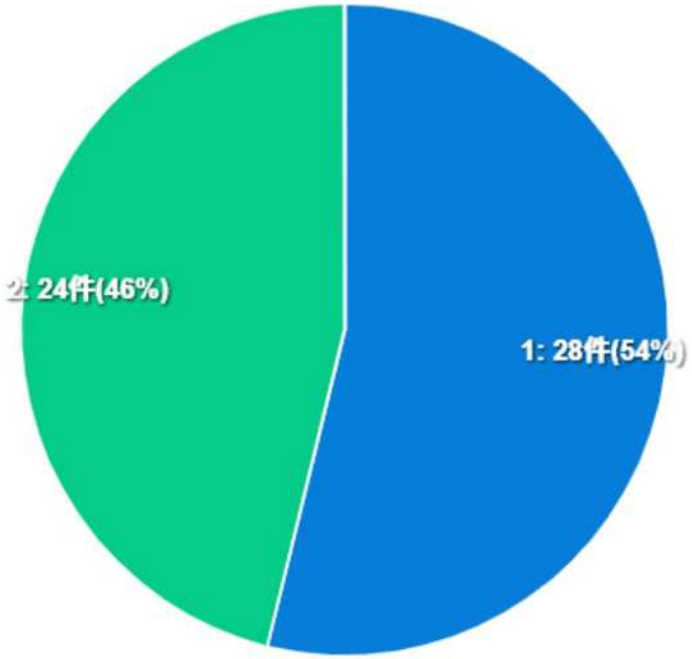
（２）実施期間　　令和７年２月１２日（水）～令和７年２月２７日（木）

（３）回答方法　　LoGoフォーム

（４）回答数（率）　校長　５２名（１００%）　教員　１１３５名（７０%）

校長用

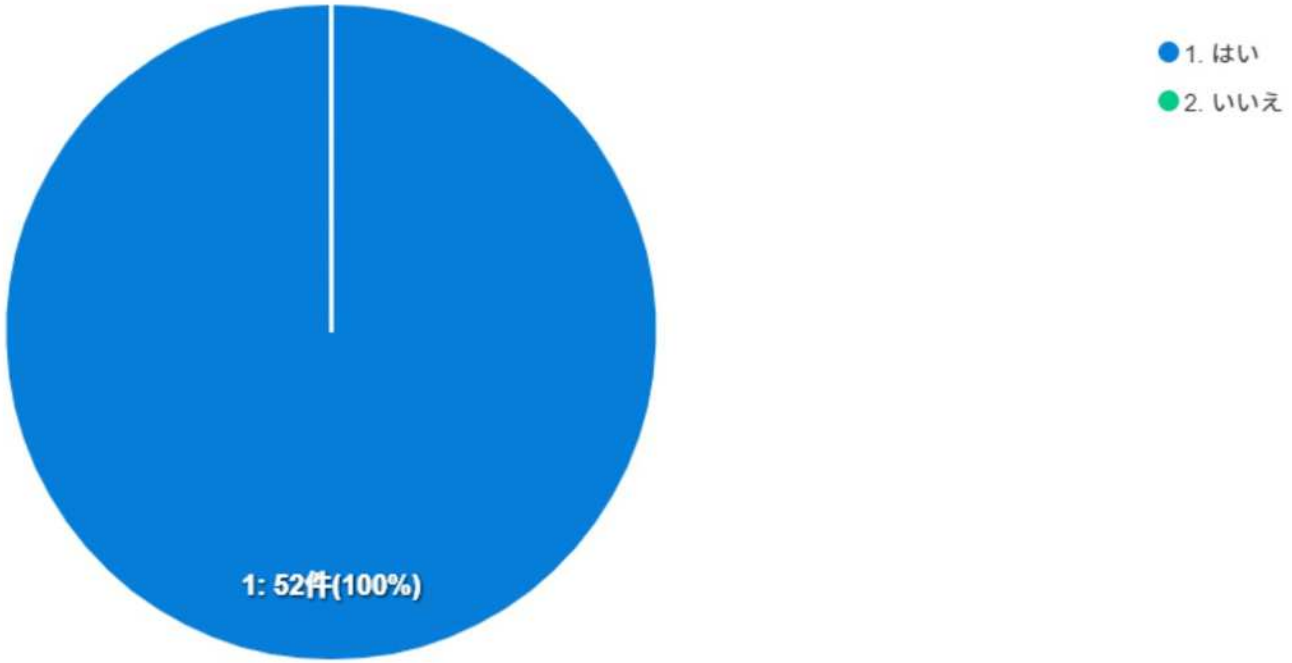
Q　部活動の顧問はどのように決めているか



校長用

Q　部活動の顧問を配置する際には、事前に各教員の意向を確認しているか

※意向を確認するとは、各教員に対して文書又は口頭で、顧問を担当することができるかや、顧問を担当する際に配慮すべき事項はあるかどうか等を確認することを指す。



校長用　Q　顧問を決定する際に、苦労している点について（主な意見）

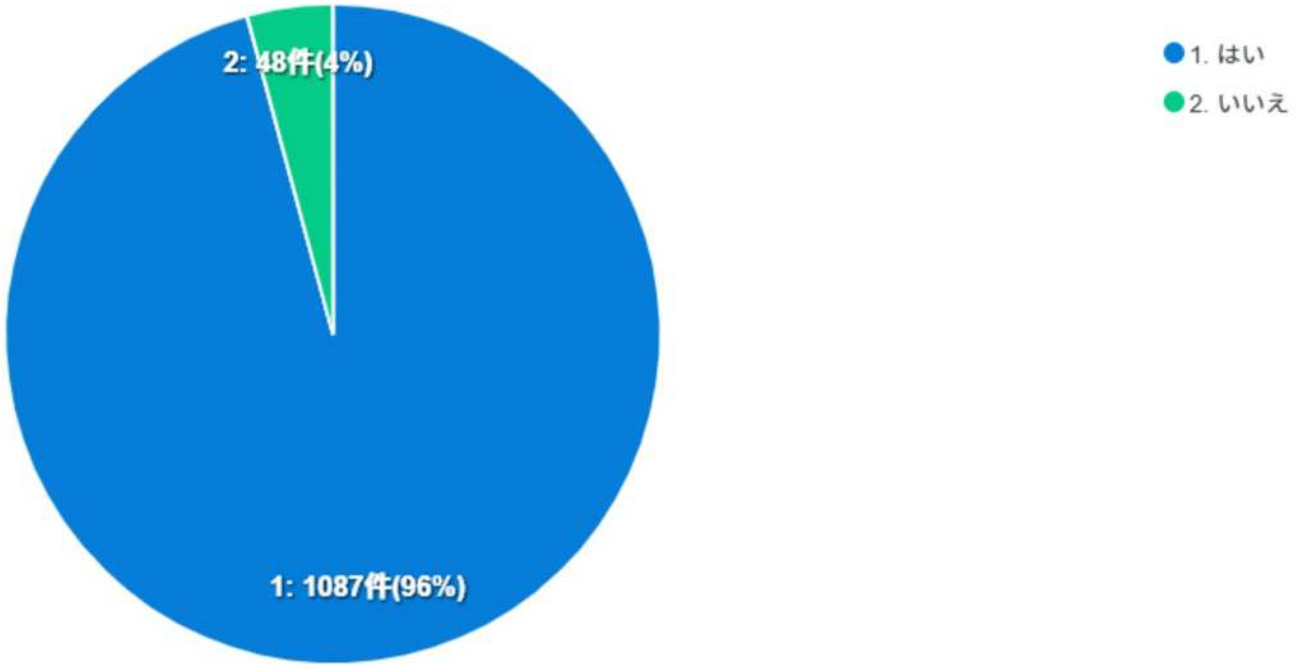
（顧問については）前向きに引き受けてくれているが、それぞれの様々な事情を考慮しながら配置しなければならない状況に苦労している。
運動部をもてる教員が、なかなかいない中、顧問長中心に調整しているのが大変である。また、水泳や新体操のように部活動は無いが、大会に参加したい生徒が試合に出場する際、教員が引率し役員を行っている。お盆の時等対応が大変である。
顧問を持ちたくないという教員が増えている。強制はできないが、それでは学校運営が成り立たない。
本人の希望通りに配置できないこともあり、面談して合意形成をしてから最終決定しているが、負担をかけさせていることを強く感じる。
学校教育活動の中で部活動は、子どもの心身の成長及び教育課程との関わりの中で、大変重要な活動である。勤務時間外の活動が多く顧問の負担感があるため、年々顧問の依頼が難しくなってきている。部活指導員の配置拡充、人材バンクの充実化、部活顧問の教員への待遇改善等が必要である。

校長用　Q　顧問を決定する際に、苦労している点について（主な意見）

希望が重なる。例えばその年に本校に赴任された教員やもともと本校にいる教員で、その年によって例えばサッカーや卓球など競技によって希望が偏ることがある。生徒の数が少ない人数の部活動の顧問について、生徒が希望しても生徒数が少ない部活動を存続させるには、そこにも顧問の数を１人でも割かなくてはならないので、全体的にしわ寄せが来てしまう。１人で２つの部の顧問を掛け持ちしてもらわざるを得ない時があり、先生方の働き方改革に逆行してしまう。
顧問になることを拒否したり、部活動を限定したりしてきた場合、強制することなくどのように声掛けをしたらよいかわからない。生徒や保護者の思いがあるため簡単には廃部できない。
運動部の配置が厳しい。経験のない部活を持ってもらったり、土日の部活動に家庭的な事情で持てなかったりする教員が多いため。
色々な理由があり顧問の引き受け手がどんどん減っている。

教員用

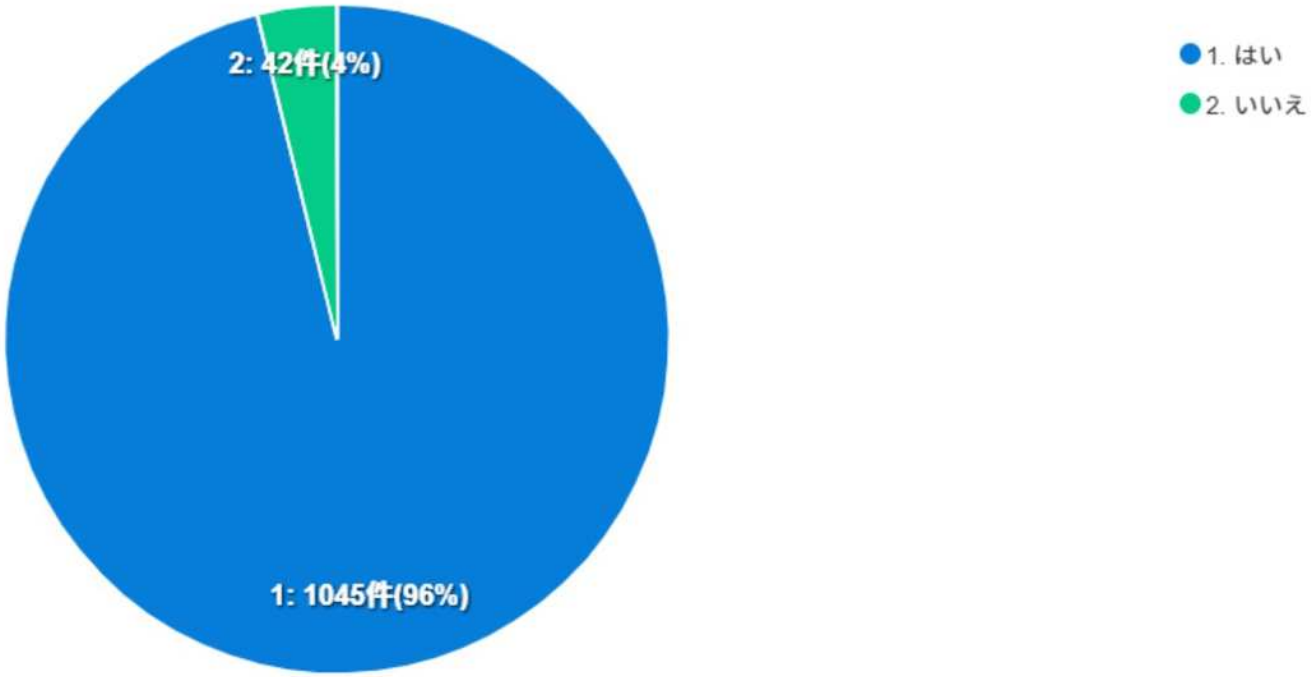
Q　部活動の顧問を担当しているか



教員用

Q　（顧問を担当していると回答した教員）顧問を担当する際に、事前に管理職等から意向を確認されたか

※意向を確認されるとは管理職等から文書又は口頭で、部活動の顧問を担当することができるかや担当する際に配慮すべき事項があるか等を確認されたことを指す。



教員用　Q　意向を確認されていない教員が顧問を担当する際の具体的な状況（自由記述（主な意見））

部活動顧問長より打診された。
前任校から異動するタイミングで校長から直接面談で話があった。意向は聞かれなかったが、配慮を必要とすることはあるかとは聞かれた。そこで、学校として、私に「お願いしたいという部活動は〇〇部」という提示があった。自分の意見は、今後検討していくということであった。
今年度は、人事発表の前に部活動を伝えてもらったが、意向というよりはこれでお願いしますということであった。昨年度までは、顧問長が勝手に決めていて不満でだったが、意見をいえる雰囲気なったことはよかったと思うが、部活動の顧問の決め方については、問題が多い。
初任だったので、担当学年や校務分掌とともに書面にて前任校に送られてきた。
昨年度からの継続なのでそのまま担当している。
部活動の第３顧問をしている。専門的な指導ができないので、外に行くときの引率が主な業務である。
着任した際に、その部活動に顧問がいなかったため、顧問を担当することとなった。

市立中学校における部活動の現状

参考資料８

- 学校数　　５２校
- 教員数　　1,７３８名（管理職を除く正規教員）
- 生徒数　　２９，９２２名
- 部活動数　７４９部（運動部５２０部/文化部２２９部）
  うち複数顧問制となっている部活動は６９９部（運動部４９４部/文化部２０５部）
- 顧問数　　延べ１，７９５名
- 入部率　　全生徒数の約８２％（２４，６５９名）（運動部 約６０％/文化部 約２２％）
- 部活動指導員（※１）の配置　７０名（※２）

※1 中学校等において、顧問教員に代わって部活動指導を行う会計年度任用職員として校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とする。

※2 令和７年度２月末日時点での中学校における延べ配置人数

主な運動部

種目	部活動数	顧問数	部員数	部活動指導員配置数	休日実施部活動数
バスケットボール	52	195	2,737	8	52
バレーボール	50	129	1,727	9	50
バドミントン	50	125	2,293	7	50
陸上競技	50	120	1,913	2	50
サッカー	50	111	1,662	7	50
その他	268	613	7,698	29	267
合計	520	1,293	18,030	62	519

主な文化部

種目	部活動数	顧問数	部員数	部活動指導員配置数	休日実施部活動数
吹奏楽	51	130	2,188	6	51
美術	50	108	1,643	0	42
演劇	21	45	475	0	18
家庭科	18	36	413	0	13
パソコン	17	37	425	1	13
その他	72	146	1,485	1	59
合計	229	502	6,629	8	196